

令和2年4月8日

## 令和2年度一学期新年度校長あいさつ

大阪市立瑞光中学校  
校長 阪井千明

まずは全校生徒の皆さん、進級おめでとうございます。令和2年度の新学期、大きな事故・怪我の報告もなく、皆さんが元気にしていると聞いています。新型インフルエンザ等対策措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令され、昨日の入学式、本日の始業式は延期となりました。予定していた明日以降の登校日も中止です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために2月29日(土)より臨時休校、3月は登校日と修了式のみ登校でした。新年度も臨時休校がゴールデンウィーク明けの5月6日(水)まで延長されています。部活動については、3月25日(水)より予防的な措置を講じたうえで活動を再開しましたが、4月3日(金)より再度中止になりました。

国が「緊急事態宣言」を発令し、不要不急の外出の自粛要請に法的根拠が生じることになりましたが、今後も予断を許さない状況です。クラスター発生リスクを下げるため、換気を励行する、人の密度を下げる、近距離での会話や発声、高唱を避けるという3つの原則は必ず徹底してください。今後も自宅での過ごし方が極めて重要になります。そのためには、規則正しい生活を心がけてください。十分な睡眠、体力の低下を防ぐための運動トレーニング、バランスのとれた食事が必要です。この臨時休校を有意義な時間とするために、皆さんそれぞれが工夫をしてください。自分をみつめ、振り返る大きなチャンスと、前向きに捉えましょう。これまで学習した内容の復習など、学力を高めるチャンスでもあります。

新3年生は最上級生になりました。今年度は義務教育の最終学年になります。一年上の先輩がそうであったように、皆さんは、一年後の今日、自分が選んだ新しい場所で新年度を迎えます。一年後に、満足できる新しい場所に立てるように、この一年を頑張りましょう。新2年生は上級生になりました。新1年生が憧れるような素敵で立派な先輩になってほしいと思っています。新1年生は、新たな歩みのスタートです。自分自身を成長させていくための継続的な努力を始めましょう。

皆さんは植物に例えるならば、まるで一粒の種のようなものです。芽を出し、花を咲かせ、実を結ぶすべての可能性が秘められています。ただし、大きな木に育つためには環境が必要であり、水が一滴もない砂漠のような環境では芽を出すことができないし、まったく光の当たらない場所では、たとえ芽が出ても大きく育つことはできません。一粒の種と同じように、無限の可能性を秘めた君たちも、その能力を花咲かせ、大きく実らせるためには君たちを大事にする気持ちとすくすくと育つことのできる環境が必要です。瑞光中学校がまさしくその環境であり、皆さん一人一人と教職員が瑞光中学校を安心できる、夢を抱ける、誇りにできる学校にしなければなりません。君たち全員が豊かな心と未来を生き抜く力を備えた生徒になれることを期待しています。

1年生195名、2年生223名、3年生192名、合計610名のみんなが、朝起きたら、「早く学校に行きたい。みんなに会いたい。」と思えるような学校になるように、ともに頑張りましょう。